

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヨコレイ箱崎物流センター新築工事	階数	地上5F
建設地	福岡市東区箱崎心頭五丁目14番12	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法第22条区域、博多港臨港地区(商工区)	平均居住人員	30人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,085時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年11月28日
敷地面積	5,040㎡	作成者	文野 義久
建築面積	2,553㎡	確認日	2022年11月28日
延床面積	10,155㎡	確認者	文野 義久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	有効なエコシステムを構築し、環境配慮型冷蔵倉庫を目指しました。様々な計画手法、環境技術により、ランニングコスト低減、ブランディング手法を積極的に採用しています。	その他 0
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆としています。自然採光のための開口部にはLow-E複層ガラスを設置し、室内の温熱環境に配慮しています。高性能断熱材を使用することで外壁からの熱負荷を	Q2 サービス性能 冷蔵品を保管する施設であるため、保管収納に支障の無いよう、ゆとりのある階高・荷重の設定をしています。
LR1 エネルギー	建物屋上には大規模な太陽光発電設備を設置することで、建物の消費電力抑えるとともに、屋上からの熱負荷を低減しています。全館LED照明とすることで消費電力と照明器具からの熱負荷を低減しています。	LR2 資源・マテリアル 冷蔵倉庫に採用している断熱材は全てノンフロン型のポリスチレンフォーム成型板、またはノンフロン型のウレタンとしています。また、冷却設備の冷媒はNH3やCO2など自然冷媒のみの使用としています。建物内の幅木はリサイクル材である廃プラスチックを成型
		Q3 室外環境(敷地内) 建物はシンプルな形状とし、周辺の風景にバランスよく調和させています。
		LR3 敷地外環境 敷地周辺での渋滞緩和のため、車両の敷地への出入口を2箇所設け、スムーズな車両動線を確認しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される